

PC・スマホ等の情報機器や情報環境についてのお問合せQ&A

Q 1. PC（パソコン）を購入したほうが良いですか？

A 1. 学習や課題作成のためにPCの購入をお勧めしています。スマートフォンをPCの替わりとすることもある程度は可能ですが、スマートフォンは画面が小さく、資料を閲覧するときに見づらい、一部の講義資料が見られない、課題提出などの作業がしづらい（場合によってはできない）等々、PCに比べて負担が大きくなると考えられます。

Q 2. どんなPCを用意すれば良いですか？

A 2. 大学の貸出PC、コンピュータ室・図書館等のPCは全てWindows OSであるため、Windows OS搭載のPCを推奨しています。

①新品の場合：

- ・大学に持参して使用するのであれば、重量は1kgが目安です（処理能力が同じなら、重くなれば安く、軽くなれば高くなります）。
- ・Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint)のライセンスは大学が用意しますので不要です。Microsoft Officeのライセンスが付属すると高くなります（+7千円～2万5千円位）。
- ・価格の目安は、おおむね10-12万円程度です（Microsoft Officeなし、カメラ・マイク内蔵、重量1キロ以下）。より安価なPCもありますが、その場合は下記③の推奨スペックを参考にしてください。

②推奨スペック：

- ・OS: Windows11
- ・CPU：インテル Core i3以上、またはAMD Ryzen3以上
- ・ディスプレイ：13インチ前後 FullHD(1920×1080ピクセル)以上
- ・メモリ：8GB以上
- ・ストレージ: SSD 256GB以上（HDDは非推奨）
- ・Webカメラ：搭載
- ・Wi-Fi規格：Wi-Fi 5以上

デスクトップPCであれば、ディスプレイサイズも大きく作業環境はよくなります。ただし、デスクトップPCは持ち運びができず、周辺機器が必要な場合があるので注意が必要です。特にWebカメラ非搭載のケースは多いと思われます。

安価なPCとしてChromebook（クロームブック）というPCがありますが、Windowsと大きく異なるのでお勧めしません。

最近の世界的な半導体不足の影響でPCや周辺機器の入手に時間がかかったり、非常に高額な価格が設定されていることがあります。また、性能・品質が十分でないものが売られていることもあります。特にインターネットで購入する場合には納期・価格や販売業者に注意してください。

Q 3. Mac PCを使用するのではだめでしょうか？

A 3. Mac PCを使用するのは、Windows PCの操作を熟知した人が2台目以降のPCとしてさらにスキルアップするために使用する場合に限りと考えてください。言い換えれば、1台目のPCとしてMac PCを購入・使用するのは避けてください。Mac PCを使用して発生した疑問やトラブルは原則として自分自身で解決しなくてはならないと考えてください。Q 2に記したように大学のPCはすべてWindowsです。メニューの構成や操作性がMacとは違いますので、すでにMac PCだけを使用している環境の人も、授業やコンピュータ室PCの開放利用、貸し出し可能なノートPCをとおして、Windowsでの操作を身に付けなければ、今後さまざまな場面で不利になると考えてください。

Q 4. タブレット（Android, iPad）でも良いでしょうか？

A 4. Q 2に記したように大学のPCは全てWindowsです。メニューの構成や操作性がAndroidやiPadとは違います。タブレットを使用しても構いませんが、授業やコンピュータ室PCの開放利用、貸し出し可能なノートPCを通して、Windowsでの操作を身に付けてください。

スマートフォンの延長に位置づけられるタブレット端末では、Webブラウザ・PDFビューア・Microsoft Officeの一部の機能が動作しないことがあります。そのため講義資料がみられない、課題提出などの作業がしづらい（場合によってはできない）などの問題が起こる可能性があります。注意してください。

Q 5. どのようなソフトウェアが必要ですか？

A 5. Webブラウザ（Google Chrome, Microsoft Edge, Mozilla Firefox, Safariなど）、PDFビューア（文書ファイル閲覧）、Microsoft Officeの利用が見込まれます。

授業やゼミ等でGoogle Classroomを利用することがあります。そのためWebブラウザはGoogle Chromeを推奨します。ほかのブラウザでも利用できますが、一部の機能が利用できない可能性があります。PDFや音声・動画のファイルは多くのコンピュータ・スマートフォンで標準的な形式で配布されると考えられますので、特殊なアプリをインストールしなくても利用できるでしょう。Microsoft Officeについては以下に詳しく説明します。

Microsoft Office について

大学でMicrosoft 365 Educationの一括契約をしているため、費用負担なしに、Word, Excel, PowerPoint, Access (Windows PCのみ), Teamsを始めとする、Office 365の最新版をPCやスマートフォンなどのデバイスで利用することが可能です。Office は、1ユーザーにつき、最大で 5 台のWindows PCまたは Mac、5 台のタブレット、および 5 台のスマートフォンにインストールできます。

PCを購入するときに、Office Home & Business 2021などのプロダクトのOfficeのライセンスが付属している場合があります。残念ながら、Office 365は、Office 2019/2021などと同時にインストールすることはできません。Office 365をインストールするためには、元々インストールされていたOffice 2019/2021をアンインストールする必要があります。卒業などで本学の学籍を失った場合は、Office 365の利用権がなくなるため、元々インス

トールされていたOffice 2019／2021に戻す必要が生じます。Office 2019／2021を再インストールするにはプロダクトキーが必要です。アンインストールを実行する前に、プロダクトキーが記載された用紙があることを確認し、しっかり保管しておいてください。

インストール時は、インターネット回線の容量を消費します。通信容量に制限がある場合は、ご注意ください。Wi-Fi環境のない方は、大学にノートPCやスマートフォンなどのインストールデバイスをお持ち込みになれば、大学のWi-Fiに接続してインストールすることが可能です。なお、利用権確認のため、少なくとも、30日間に1回、Office ライセンスサービスに接続する必要があります。皆さんが特別な操作を行う必要はありませんが、インターネットに接続できる環境は必要です。

Q 6. 大学生活を送るうえで、自宅でPCをインターネットに接続できる環境は必要ですか？

A 6. 必要な時にインターネットに接続できる環境を整えておくことをお勧めします。安価なサービスも増えていきますので、ご自身に合ったサービスを選択するようにしてください。以前は、対面でのみ行われていたことも、状況に合わせて対面とオンラインを組み合わせて行われることが一般化しました。大学での様々な活動や就職活動においても顕著で、今後もその傾向は変わらないと思われます。PCのソフトウェアでも、常時接続を前提とするケースも増えていきます。

なお、2023年度の授業は対面を前提としていますが、新型コロナウイルス等の影響によりオンライン授業が行われる場合は通信容量が増大することが予想されます。可能であれば、有線接続やWi-Fiなどで通信量・料金を気にせず利用できる環境を整えておくことが、望ましいでしょう。

PCは、無線Wi-Fiルーターなどを利用してインターネットに接続することができます。スマートフォンを無線Wi-Fiルーターとして利用することもできます。「テザリング」という方法でPCをいったんスマートフォンに接続し、そこからLTEなどのモバイル回線を通してインターネットに接続します。これを行うには、スマートフォンとPCの両方に設定が必要です。

具体的には以下のサイトなどを参考にしてください

(<https://allabout.co.jp/gm/gc/391797/>)。通信会社によっては「テザリングオプション」という契約が別途必要な場合があります。